

生徒指導部

部長 滝澤 雅彦

1 平成24年度 推進事項

- (1) 健全育成の推進・充実のための研究
- (2) 当面する生徒指導上の課題への対応
- (3) 特別支援教育推進上の課題への対応
- (4) 部活動推進上の課題への対応
- (5) 防災教育・安全教育推進・充実のための研究

2 活動内容

(1) 健全育成の推進・充実のための研究

健全育成の推進にあっては、好ましい人間関係の育成や自尊感情、規範意識、自己指導力の育成が求められている。昨年度の調査研究結果の経年変化及び小学校との比較を踏まえ、全国の健全育成推進上の課題とその対応について調査・分析・情報提供をする。

(2) 当面する生徒指導上の課題への対応

情報社会の進展の中でパソコンや携帯電話を利用した問題行動や暴力行為の増加はますます深刻な状況となっている。学校は保護者及び関係機関等と連携し対策に努めているところである。昨年度の調査結果の経年変化及び小学校との比較を踏まえ、問題行動の実態や対策について調査・分析・情報提供をする。

(3) 特別支援教育推進上の課題への対応

インクルーシブ教育システム構築に備えて、特別支援教育の現状と課題について、昨年度の調査結果の経年変化及び小学校との比較を踏まえ、発達障害のある生徒の指導に関する調査を含め調査・分析・情報提供をする。

(4) 部活動推進上の課題への対応

学習指導要領において、スポーツや文化及び科学等に親しませ学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものである、と定義されている部活動の課題や対応策について、昨年度の調査結果の経年変化を踏まえ、調査・分析・情報提供をする。

(5) 防災教育・安全教育推進・充実のための研究

東日本大震災の経験をもとに、今後も起こり得る大震災等の災害に備えて、防災教育・安全教育の見直し・推進・充実を図るために、調査・分析・情報提供をする。

3 活動予定

- (1) 11回の定例会を開催し、資料提供、調査研究、分析、情報交換等を行い、報告書としてまとめていく。活動に当たっては、分科会を構成し組織的に検討する。
- (2) 1学期中に実態調査の項目(案)を完成し、夏季休業中に調査依頼し、9月より分析検討し、年度内に報告書としてまとめ情報提供していく。
- (3) 推進事項(1)(2)は、基本的な推進事項とするとともに、当面する課題への対応として情報提供できるようにする。
- (4) 推進事項(3)(4)については、文部科学省の動向を踏まえ、中・長期的な見通しを持って取り組むようにする。
- (5) 推進事項(5)は、東日本大震災の経験をもとに、防災教育・安全教育の実態や環境整備について当面する課題への対応として情報提供できるようにする。

生徒指導部

部長 山浦 勝雄

1 平成25年度 推進事項

- (1) 健全育成の推進・充実のための研究
- (2) 当面する生徒指導上の課題への対応
- (3) 特別支援教育推進上の課題への対応
- (4) 部活動推進上の課題への対応
- (5) 防災教育・安全教育推進・充実のための研究

2 活動内容

- (1) 健全育成の推進・充実のための研究

健全育成の推進にあつては、好ましい人間関係の育成や自尊感情、規範意識、自己指導力の育成が求められている。昨年度の調査研究結果の経年変化及び小学校との比較を踏まえ、全国の健全育成推進上の課題とその対応について調査・分析・情報提供をする。

- (2) 当面する生徒指導上の課題への対応

情報社会の進展の中でパソコンや携帯電話を利用した問題行動や暴力行為の増加はますます深刻な状況となっている。学校は保護者及び関係機関等と連携し対策に努めているところである。昨年度の調査結果の経年変化及び小学校との比較を踏まえ、問題行動の実態や対策について調査・分析・情報提供をする。

- (3) 特別支援教育推進上の課題への対応

インクルーシブ教育システム構築に備えて、特別支援教育の現状と課題について、昨年度の調査結果の経年変化及び小学校との比較を踏まえ、発達障害のある生徒の指導に関する調査を含め調査・分析・情報提供をする。

- (4) 部活動推進上の課題への対応

学習指導要領において、スポーツや文化及び科学等に親しませ学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであると定義されている。各地区における部活動の課題や対応策について、昨年度の調査結果の経年変化を踏まえ、調査・分析・情報提供をする。

- (5) 防災教育・安全教育推進・充実のための研究

東日本大震災の経験をもとに、今後も起こり得る大震災等の災害に備えて、防災教育・安全教育の見直し・推進・充実を図るために、調査・分析・情報提供をする。

3 活動予定

- (1) 11回の定例会を開催し、資料提供、調査研究、分析、情報交換等を行い、報告書としてまとめていく。活動に当たっては、分科会を構成し組織的に検討する。
- (2) 1学期中に実態調査の項目(案)を完成し、夏季休業中に調査依頼し、9月より分析検討し、年度内に報告書としてまとめ情報提供していく。
- (3) 推進事項(1)(2)は、基本的な推進事項とするとともに、当面する課題への対応として情報提供できるようにする。
- (4) 推進事項(3)(4)については、文部科学省の動向を踏まえ、中・長期的な見通しを持って取り組むようにする。
- (5) 推進事項(5)は、東日本大震災の経験をもとに、防災教育・安全教育の実態や環境整備について当面する課題への対応として情報提供できるようにする。

生徒指導部

部長 直 田 益 明

1 推進事項

- (1) 健全育成の推進・充実のための研究
- (2) 当面する生徒指導上の課題への対応
- (3) 特別支援教育推進上の課題への対応
- (4) 部活動推進上の課題への対応
- (5) 防災教育・安全教育推進・充実のための研究

2 活動内容

- (1) 健全育成の推進・充実のための研究

健全育成の推進にあっては、好ましい人間関係の育成や自尊感情、規範意識、自己指導力の育成が求められている。昨年度の調査研究結果や経年変化などとの比較を踏まえ、全国の健全育成推進上の課題とその対応について調査・分析・情報提供をする。

- (2) 当面する生徒指導上の課題への対応

情報社会の進展の中でパソコンや携帯電話を利用した問題行動や暴力行為の増加はますます深刻な状況となっている。学校は保護者及び関係機関等と連携し対策に努めているところである。昨年度の調査研究結果や経年変化などとの比較を踏まえ、問題行動の実態や対策について調査・分析・情報提供をする。

- (3) 特別支援教育推進上の課題への対応

インクルーシブ教育システム構築に備えて、特別支援教育の現状と課題について、昨年度の調査結果や経年変化などとの比較を踏まえ、発達障害のある生徒の指導に関する調査を含め調査・分析・情報提供をする。

- (4) 部活動推進上の課題への対応

学習指導要領において、スポーツや文化及び科学等に親しませ学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであると定義されている。各地区における部活動の課題や対応策について、昨年度の調査研究結果や経年変化などを踏まえ、調査・分析・情報提供をする。

- (5) 防災教育・安全教育推進・充実のための研究

東日本大震災の経験をもとに、今後も起こり得る大震災等の災害に備えて、防災教育・安全教育の見直し・推進・充実を図るために、調査・分析・情報提供をする。

3 活動予定

- (1) 11回の定例会を開催し、資料提供、調査研究、分析、情報交換等を行い、報告書としてまとめていく。活動に当たっては、分科会を構成し組織的に検討する。
- (2) 第1学期中に実態調査の項目(案)を完成し、夏季休業中に調査依頼し、9月より分析検討し、年度内に報告書としてまとめ情報提供していく。
- (3) 推進事項(1)(2)は、基本的な推進事項とするとともに、当面する課題への対応として情報提供できるようにする。
- (4) 推進事項(3)(4)については、文部科学省の動向を踏まえ、中・長期的な見通しをもって取り組むようにする。
- (5) 推進事項(5)は、東日本大震災の経験をもとに、防災教育・安全教育の実態や環境整備について当面する課題への対応として情報提供できるようにする。

生徒指導部

部長 石鍋 浩

1 推進事項

- (1) 健全育成の推進・充実のための研究
- (2) 当面する生徒指導上の課題への対応
- (3) 特別支援教育推進上の課題への対応
- (4) 部活動推進上の課題への対応
- (5) 防災教育・安全教育の推進・充実のための研究

2 活動内容

本年度は、テーマを「健全育成の推進・充実のための研究及び当面する生徒指導上の課題への対応」「特別支援教育推進上の課題への対応」「部活動推進上の課題への対応及び防災教育・安全教育の推進と充実のための研究」とし、3分科会に分かれて調査研究を行うこととした。

健全育成の推進に当たっては、好ましい人間関係の育成や自尊感情、規範意識、自己指導能力の育成が求められている。昨年度の調査研究結果や経年変化などとの比較を踏まえ、全国の健全育成上の課題とその対応について調査・分析・情報提供をする。

4月20日(月) 全体幹事会及び部会

- ・本年度活動方針、推進事項、活動内容について協議
- ・全日中総会における生徒指導部の分担及び準備

4月30日(木) 部会

- ・活動内容についての確認・検討
- ・本年度調査内容についての協議
- ・全日中総会における前日資料配布準備及び当日の受付業務の確認

5月19日(火) 全日中総会前日準備

- ・総会における配布資料の袋詰め作業
- ・総会受付設営作業及び当日受付業務の再確認

5月20日(水)・21日(木) 全日中総会

- ・総会における生徒指導部分担(受付業務)
- ・本年度調査内容作成の進め方の確認

6月9日(火) 部会

- ・本年度調査内容についての協議

7月13日(月) 部会

- ・本年度調査内容項目の最終案作成

3 活動予定

- (1) 11回の定例会を開催し、資料提供、調査研究、分析、情報交換等を行い、報告書としてまとめていく。活動に当たっては、分科会を構成し組織的に検討する。
- (2) 第1学期中に実態調査の項目(案)を完成し、夏季休業中に調査依頼し、9月より分析検討し、年度内に報告書としてまとめ情報提供していく。
- (3) 推進事項(1)(2)は、基本的な推進事項とするとともに、当面する課題への対応として情報提供できるようにする。
- (4) 推進事項(3)(4)については、文部科学省の動向を踏まえ、中・長期的な見通しをもって取り組むようにする。
- (5) 推進事項(5)は、東日本大震災の経験をもとに、防災教育・安全教育の実態や環境整備について当面する課題への対応として情報提供できるようにする。

1 平成 28 年度推進事項

- (1) 健全育成の推進・充実のための研究
- (2) 当面する生徒指導上の課題への対応
- (3) 特別支援教育推進上の課題への対応
- (4) 部活動推進上の課題への対応
- (5) 防災教育・安全教育の推進と充実のための研究

2 活動内容

本年度は、テーマを「健全育成の推進・充実のための研究及び当面する生徒指導上の課題への対応」「特別支援教育推進上の課題への対応」「部活動推進上の課題への対応及び防災教育・安全教育の推進と充実のための研究」とし、3分科会に分かれて調査研究を行う。

昨年度の調査研究結果や経年変化などを踏まえ、全国の生徒指導に関する課題とその対応について調査・分析をし、情報提供をする。

3 活動計画

- (1) 全体幹事会及びその後の部会において、本年度活動方針、推進事項、活動内容について協議する。
また、全日中総会における生徒指導部の分担、前日資料配布の確認をする。
- (2) 全日中総会前日準備において、総会における配布資料の袋詰め作業、受付設営作業及び当日受付業務の再確認をする。また、総会当日には、受付業務を行う。
- (3) 9回の定例会を開催し、資料提供、調査研究、分析、情報交換等を行い、報告書としてまとめていく。活動に当たっては、分科会を構成し、組織的に検討する。
- (4) 第1学期中に実態調査の項目(案)を完成し、夏季休業中に調査依頼し、9月より分析検討し、年度内に報告書としてまとめ情報提供していく。
- (5) 推進事項(1)(2)は、基本的な推進事項とするとともに、当面する課題への対応として情報提供できるようにする。
- (6) 推進事項(3)(4)については、国の動向を踏まえ、中・長期的な見通しをもって取り組むようにする。
- (7) 推進事項(5)は、東日本大震災の経験をもとに、防災教育・安全教育の実態や環境整備について当面する課題への対応として情報提供できるようにする。